

# その一言で、子どもは 野球を嫌いになるかもしれない。

～学童野球に関わる大人のための  
コンプライアンス漫画～

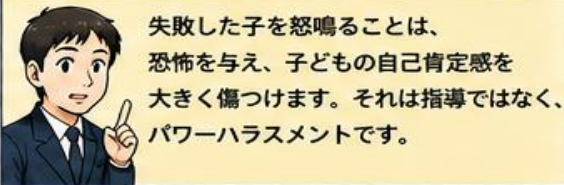
【個人編】



子どものために一生懸命やってきたのは、みんな同じ。  
でも、その「一言」「一つの行動」が、子どもの心を傷つけ、  
野球を嫌いにさせてしまうことがあります。  
大切なのは、子どもが安心して、楽しく野球を続けられること。  
一緒に、振り返り、考えていきましょう。

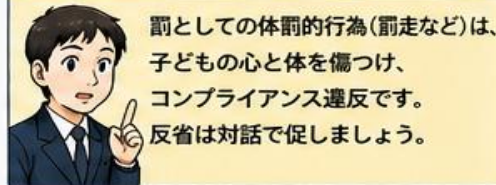


## 1 エラーした子を怒鳴る



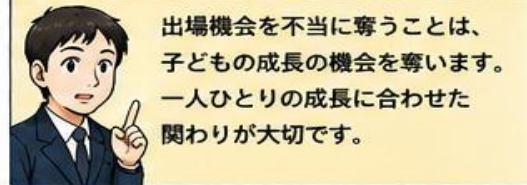
怒鳴る指導は、子どもを萎縮させる。

## 2 罰走をさせる



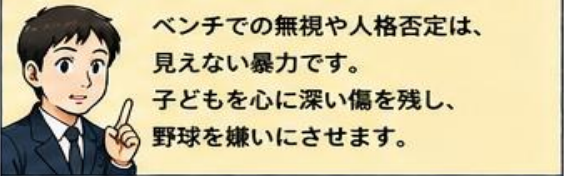
罰ではなく、対話で気づかせる。

## 3 できない子を試合に出さない



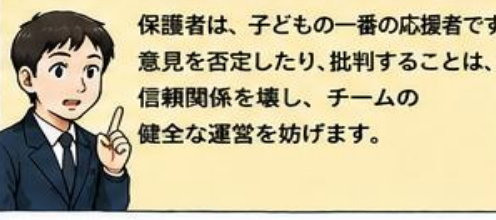
一人ひとりに、出番と役割を。

## 4 ベンチで無視・人格否定する



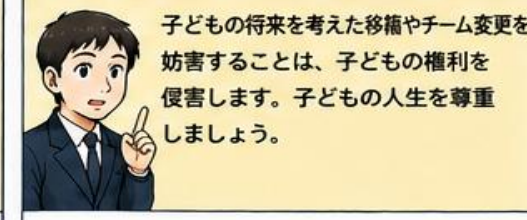
言葉は、子どもの心に残る。

## 5 保護者の意見を文句扱いする



意見を聞く姿勢が、信頼をつくる。

## 6 子どもの移籍を妨害する

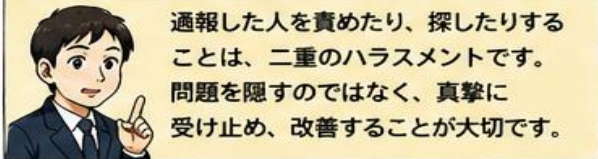


子どもの未来は、子ども自身のもの。

## 7 通報した人を責める・探す



誰が通報に通報したんだ？  
チクったのは〇〇だろ？



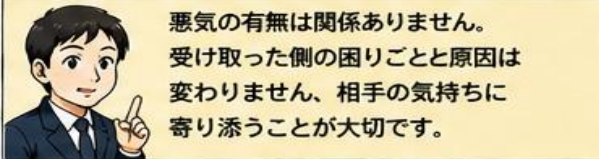
通報した人を責めたり、探したりすることは、二重のハラスメントです。問題を隠すのではなく、真摯に受け止め、改善することが大切です。

**通報は、よりよいチームへの第一歩。**

## 8 「悪気はなかった」で終わらせる



悪気はなかったんだよ。  
気にしすぎだよ。



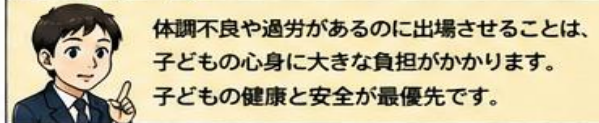
悪気の有無は関係ありません。受け取った側の困りごとと原因は変わりません、相手の気持ちに寄り添うことが大切です。

**受け取った側の気持ちが、すべて。**

## 9 勝つためなら休ませない



大事な試合なんだぞ！  
休むなんて甘えだ！



体調不良や過労があるのに出場させることは、子どもの心身に大きな負担がかかります。子どもの健康と安全が最優先です。

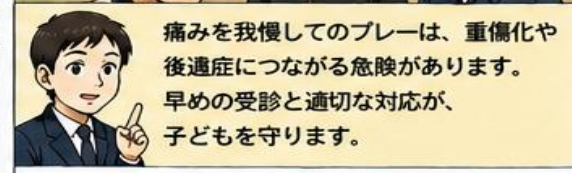
**勝ちより、子どもの健康と安全を。**

## 10 ケガを我慢させる



これくらいで休むな！根性が足りない！

でも、痛くて…



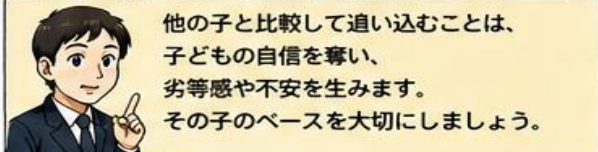
痛みを我慢してのプレーは、重傷化や後遺症につながる危険があります。早めの受診と適切な対応が、子どもを守ります。

**「大丈夫？」の一言が、子どもを守る。**

## 11 他の子と比較して追い込む



〇〇はできてるのに、  
お前はなんでできないんだ！



他の子と比較して追い込むことは、子どもの自信を奪い、劣等感や不安を生みます。その子のペースを大切にしましょう。

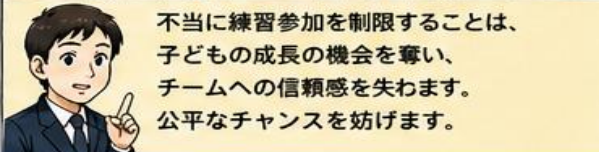
**比べるのは過去の自分、伸ばすのは未来。**

## 12 練習参加を不当に制限する



来週の試合に出すかわからないから、練習には来なくていいよ。

えっ…  
どうして…



不当に練習参加を制限することは、子どもの成長の機会を奪い、チームへの信頼感を失わす。公平なチャンスを妨げます。

**公平なチャンスが、やる気を育てる。**

**大人が変われば、子どもは変わる。  
チームはもっと、よくなる。**



子どもたちは、野球が大好きです。大人の関わり方ひとつで、笑顔にも、泣き顔にもなります。「子どもが安心して、楽しく野球を続けられる環境」をみんなでつくっていきましょう。

**子どもたちの未来のために。  
一緒に、正しく、優しい野球を。**



## 大切にしたい5つのこと

### ① 子どもの人格を尊重する

一人の人間として尊重し、大切に接しましょう。

### ② 安全と健康を最優先する

心と体の健康を守ることが、すべての土台です。

### ③ 対話と信頼関係をつくる

子ども・保護者の声に耳を傾け、信頼関係を築きましょう。

### ④ 公平・公正に接する

えこひいきや不公平な扱いは、チームの信頼を壊します。

### ⑤ 子どもの成長を支える

結果だけでなく、努力や成長のプロセスを認め、支えましょう。

## 覚えておきたいこと

一瞬の言動でも、子どもの心に長く残ります。「このチームでよかった」と思える環境を、みんなでつくっていきましょう。

